

2019年12月23日

令和元年度「スポーツエールカンパニー」に認定

アフラック生命保険株式会社（代表取締役社長：古出 眞敏）は、この度、スポーツ庁が創設した「スポーツエールカンパニー」に2年連続で認定されましたので、お知らせします。

本表彰は、スポーツ庁がビジネスパーソン向けにスポーツの実施を促進し、スポーツに対する社会的機運の醸成を図ることを目的として設けられた認定制度で、今回で3回目となります。

当社は、「『生きる』を創る。」というブランドプロミスを掲げ、社会に必要とされる存在であり続けるためには、それを成し遂げる社員の心身の健康が不可欠と考え、2016年12月に「アフラック健康経営宣言」を策定しました。本宣言に基づき、社員が心身ともに健康に生活し、いきいきと仕事に取り組めるよう、社員の健康維持・増進を図っています。

現在、「運動習慣の向上」という観点から2022年までに「30分以上の運動を週2回以上1年以上実施している」社員の割合を男性36%、女性33%とすることを目標としています。歩数や睡眠状況など測定し健康状態を「見える化」するウェアラブル端末の配布や、役員も含め半数以上の社員が参加するウォーキングキャンペーンの実施、さまざまなスポーツ体験機会を提供するイベント「アフラック スポーツガーデン」を開催するなど、社員の運動習慣の向上に取り組んでいます。



今般、これらの取り組みが評価され、「スポーツエールカンパニー」に2年連続で認定されました。なお、こうした取り組みについては、東京都が主催する「東京都スポーツ推進企業」としても評価され、令和元年度の認定企業に選定されました。

当社は今後も、社員が心身ともに健康かついきいきと仕事に取り組むための活動を積極的に行っていきます。